国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成２８年１０月２８日
国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所

「高地谷第１砂防堰堤」の起工式を開催しました

１．概　　要

平成１７年より岐阜県揖斐郡揖斐川町小津地内で整備を進めている高地谷第１砂防堰堤が、この度本体工事に着工することとなり、起工式を開催しました。（この型式の砂防堰堤としては日本最大となります。）

起工式には国会議員、県議会議員、揖斐川町長をはじめ県、町、工事関係者等約３０名のご臨席を賜りました。（詳細別紙）

２．日　　時　　平成２８年１０月２７日（木）１０時３０分～１１時３０分

３．場　　所　　岐阜県揖斐郡揖斐川町小津地内（高地谷第１砂防堰堤　右岸側仮設テント）

４．主　　催　　国土交通省中部地方整備局　越美山系砂防事務所

５．次　　第
１）式辞　　中部地方整備局長
２）来賓祝辞　　岐阜県議会議員　揖斐川町長
３）工事概要説明　　越美山系砂防事務所長
４）定礎式

６．配布先　　岐阜県政記者クラブ、
越美山系砂防事務所管内（本巣市・揖斐川町）支局

７．解禁指定　　なし

８．問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局　越美山系砂防事務所　℡（０５８５）２２−２１６１
担当者　副所長　山田　裕代（やまだ　ひろよ）
総務課長　中村　澄之（なかむら　すみゆき）

たかちだに

高地谷第一砂防堰堤起工式を開催しました

高地谷第一砂防堰堤は、揖斐川流域に大量の土砂が流入して発生する洪水の防止を目的に計画された、砂防ソイルセメント工法※による砂防堰堤としては**日本最大（高さ２７ｍ）の砂防堰堤**です。
このたび、砂防堰堤本体の建設に着手することから、起工式を開催いたしましたところ、地元小津地区の皆様をはじめ、多数の皆様にご出席を賜りました。

日　時：平成28年10月27日（木）
場　所：岐阜県揖斐郡揖斐川町小津地先
主　催：国土交通省中部地方整備局

塚原中部地方整備局長（主催者）挨拶

※）砂防ソイルセメント工法とは、セメントと土砂を混合して堰堤の材料とする工法で、建設残土やコストの縮減、工期の短縮等が図られます。

ニホンカモシカがお出迎え

工事現場全景。携帯電話の電波が届かない、急峻な谷間で施工します。

定礎の儀。ご来賓の皆様、ありがとうございました。

平成１７年度より事業に着手し、関係者の皆様のご協力を得ながら事業を行ってまいりました。平成３２年ごろの完成を目指し、引き続きご支援よろしくお願い申し上げます。

高地谷（たかち だに）第１砂防堰堤

国土交通省

中部地方整備局 越美山系砂防事務所

■高地谷第一砂防堰堤の概要

高地谷第一堰堤は、岐阜県揖斐川町小津地区に計画された高さ27mの大型の砂防堰堤です。揖斐川上流域は、岐阜県で最も多い降水量と、根尾谷断層をはじめとする活断層に破砕された地質により、たびたび土砂災害が発生していることから、地域の土砂災害を防止するとともに、揖斐川本川に土砂が流入して発生する洪水の防止を目的に計画されました。

■事業の経緯

平成元年9月の秋雨前線による総雨量500mmを超える集中豪雨により、揖斐川上流域では多数の土砂災害が発生しました。

特に高知川流域を含む旧久瀬村では被害が大きく、国道303号の寸断や、土石流の流入による家屋被害が発生するなど、甚大な被害が発生しました。

あふれる濁流、民家襲う

揖斐、西濃 水びたし

久瀬村 土石流で民家半壊

高知川支流・月夜谷の土砂流出（田畑が埋没）

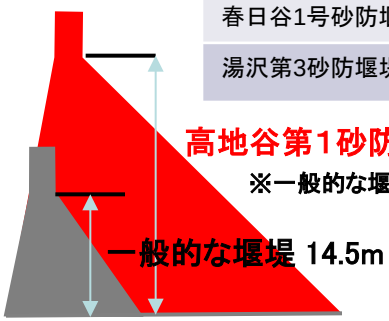
■高地谷第一砂防堰堤の特徴

堰堤は、新工法「砂防ソイルセメント工法」により、従来工法よりも工費及び工期の縮減を目指す一方、同工法としては日本でも例のない、高さ27mの巨大な堰堤として設計されており、技術的にも難易度の高い工事です。

完成イメージ

砂防ソイルセメント堰堤大きさランキング

堰堤名	堤高	状況	施工者
高地谷第1砂防堰堤	27．0	施工中	越美山系砂防
春日谷1号砂防堰堤	24．5	施工済	三重県
湯沢第3砂防堰堤	22．0	施工済	日光砂防

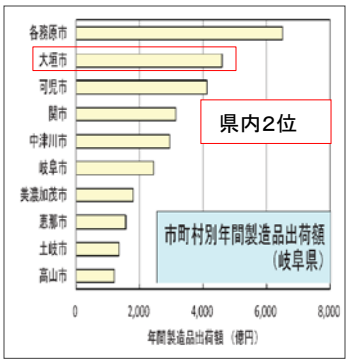


※砂防ソイルセメント工法とは、セメントと現地発生土砂を混合し堰堤の材料とするもので、現場条件により従来のコンクリート堰堤よりも安価かつ急速に施工できる工法。

■期待される整備効果

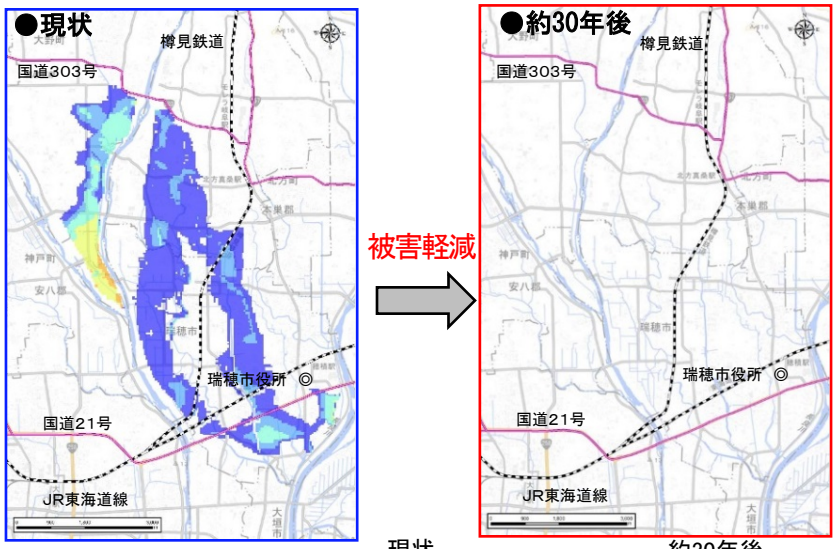
今後約30年間にわたり、揖斐川上流域で、高地谷第一砂防堰堤を含む砂防堰堤を整備することで、揖斐川流域における土砂流出を減少させ、氾濫被害を大きく減少させることにより、地域産業の生産性を向上させます。

・岐阜県大垣市周辺は、製造業を中心に、地域産業の中核的な地域です。
・土砂の影響で揖斐川が氾濫した場合、交通ネットワークの寸断、生産拠点の操業停止などにより、産業活動にも大きな影響が生じるおそれがあります。



出典：平成25年工業統計表「市区町村編」データ（経済産業省大臣官房調査統計グループ）

想定される最も大きな土砂流出が発生した場合の下流の氾濫状況



	現状	約30年後
土砂・洪水氾濫による氾濫面積	24.5km^2	5.4km^2
土石流による想定被害家屋数	612戸	282戸

■工事進捗状況

高地谷第一砂防堰堤は、平成17年に事業着手し、地元の皆様のご協力を得ながら、用地取得、上流への通行のための付替え道路、仮排水路トンネル等を施工し、平成27年度末より本体工事に着手しています。

【仮排水路トンネル】 L=160m

【付替道路】L=1094m　橋梁3橋

現在、地盤の掘削が完了し、砂防堰堤を設置する硬い岩盤が露出しています。掘削した大量の土砂は、「砂防ソイルセメント」として、堰堤本体に再利用されます。

国土交通省中部地方整備局 越美山系砂防事務所
〒501-0605 岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺137
Tel：0585-22-2161　Fax：0585-22-2174
http://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/